

篠田桃紅美術空間からの お知らせ

篠田桃紅芸術月間2011

桃の葉しおり

「水と墨が織りなす 詩」ホエー

桃紅リトグラフ

1月7日に開場式およびテープカットを行いました。その後、お越しいただいた約20人の来賓の皆さんにじっくりと企画展をご覧いただき、多くのご感想をいただきました。同じ版から刷られた3点の作品の前ではこうして並べてみると、よく分かるね」と、刷りあがった上から桃紅が加えた肉筆による部分の違いを見比べて、その一筆によって生まれる雰囲気の違いを感じていただきました。



開場式後の作品鑑賞の様子

る。木が生えていて、右の太い線は、手前にある木だから大きく描いてあるのだろう」という感想がとび出し、他の方からは「白い部分は森の中に差し込む光のように見える」など、会話が弾み、じっくりと作品を楽しんでいただくことができました。

ただいま、篠田桃紅美術空間では、水墨作品とともにリトグラフ作品（版画作品）を展示しています。桃紅にとって創造の領域を広げてくれる大切な表現のひとつであるリトグラフ。その魅力を紹介しています。ぜひ桃紅作品を前に、会話を楽しんでみませんか。

◆イベント

学芸員による解説会「約45分」
3月12日（土）午後1時30分

- 企画展会期：3月27日（日）まで
 - 入館料：高校生以上300円、中学生以下無料
 - 休館日：月曜および祝日の翌日
 - 開館時間：午前9時～午後4時30分
 - 照会先：篠田桃紅美術空間（市役所7階）☎77556
- 【臨時休館日のお知らせ】
作品入替作業のため3月28日（月）～4月5日（火）まで休館します。

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう vol. 78

第11回関市男女共同参画市民フォーラムに参加して

男女共同参画社会

昨年12月12日に市制60周年記念事業の一環として、わかさ・プラザで「第11回関市男女共同参画市民フォーラム」が盛大に開催されました。

今回は、関市出身の漫画家・小栗左多里さんのベストセラーとなった漫画エッセイ「ダーリンは外国人」を基に、講演と映画の2本立てという今までにない構成で行われました。講演の講師には小栗左多里さんの夫であるトニー・ラズロさんをお招きして「新しい男女関係は手づくりで」をテーマで講演していただきました。流暢な日本語を操り、難しい言い回しなどを使って、異文化に生まれ育った男女（ふたり）がお互いを理解していくプロセスを面白おかしく語られた姿には、本当に大変だったんだなあ実感しました。

この大変さを後半の映画「ダーリンは外国人」を見て、生育の違い、男と女のモノの考え方・見方の違いなどがフォーラムに参加された皆さんには十分理解できたのではないかと思います。さらに、時間をかけて話し合い、また相手を心底から思う心があればお互いが理解しあえるのだということも分かったのではないかと思います。

250余人の参加者が今回のフォーラムを参考に、男女共同参画社会の実現に向けて、さらに実践されていかれることを企画・運営委員の一人として切望しています。

さんかくサポーター＜J＞



▲わかさ・プラザで講演するトニー・ラズロさん

＜照会先＞さんかくサポーター事務局（まちづくり推進課内）☎23-6831